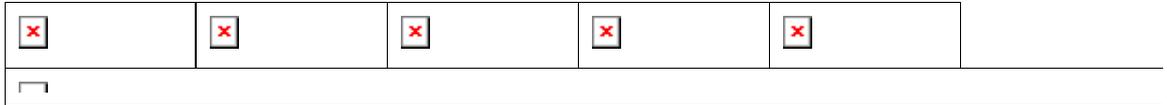




ホーム | 情報 | プレゼント | 女性 | サイトマップ | リンク | 投稿 | ご意見 | 動画 2004年5



関連記事

**不妊の悩み相談して 岡山大病院 5月7日 専門窓口開設 「不育症」も対象 専門
らがアドバイス**

岡山大病院(岡山市鹿田町)と県は、不妊専門相談センター「不妊、不育とこころの相談室」を7日、同院内に開設する。不妊症だけでなく、流産や死産を繰り返して子供が育たない不育症についても専門医らがアドバイスする。

相談センターは、厚生労働省が進める少子化対策事業を受け、県が計画。同病院に運営を委託した。院1階に設け、スタッフはコーディネーター1人(常駐)と産科婦人科医4人。心のケアに重点を置き、コーディネーターはカウンセリング資格を持つ。

相談者からこれまでの経緯や希望を聞いた上で、体外受精や薬物療法、腹腔(ふっくう)鏡手術など治法を分かりやすく説明したり、今後の方針について一緒に考える。医療機関の紹介も行う。

相談日は毎週水、金曜日の午後1時から同5時まで(予約制)。来所のほか、電話(086—235—6542)、ホームページ(<http://www.okayama-u.ac.jp/user/hos/funin/index1.html>)から相談にも応じる。無料。

不妊、不育症はプライバシーを気にして自分たちだけで悩みを抱えるケースがある。治療は長期に及ぶため患者の精神的負担が大きく、受診をためらうという。

同病院産科婦人科の中塚幹也講師は「医療技術の向上で不妊の人が妊娠するケースが増えてきた。国的にも珍しい不育治療は約10年前から取り組んできた実績がある。気軽に利用してもらいたい」と話している。

(2004年5月1日 報)

[\[戻る\]](#) [\[山陽新聞社ホームページへ\]](#)

★山陽新聞社ホームページのデータとリンクについて★

- ・ホームページの記事・写真の著作権は山陽新聞社、共同通信社、寄稿者に帰属します。すべてのデータの無断複製・転載を禁じます。
- ・ネットワーク上の著作権について [日本新聞協会](#) の見解をご覧ください。
- ・リンクする際は、トップページ(<http://www.sanyo.oni.co.jp/>)にしてください。トップページ以外のページへの直接リンクは基本的にお断りしています。また、「ブックマーク」「お気に入り」等への登録もトップページにお願い致します。

Copyright © 1996-2004 The Sanyo Shimbun, all rights reserved.